

活動報告書

所属：生殖医学検査研究班 提出日： 令和 6 年 6 月 7 日 報告者：古澤 直美

行事種別	研究会	行事番号	240000770	
開催日	令和 6 年 6 月 1 日 (土)			
時間	開始	15 時 00 分	終了	17 時 00 分
場所	八千代病院 2 階大会議室 (所在地 安城市)			
テーマ	「精液検査と人工授精」			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	名古屋大学医学部附属病院	黒川理菜	技師	
講師	1.Q&A～素朴な疑問にお答えします トヨタ記念病院 芦野 実咲 2.精度管理調査について 八千代病院 小笠原 恵 3.精液検査と人工授精 小牧市民病院 藤田 京子			
内容	<p>1.Q&amp;A～素朴な疑問にお答えします            前回 12 月研究会で寄せられた以下の 3 つの質問に対する回答を芦野先生より解説していただきました。</p> <p>① レーザーによるアシステッドハッチングの運用            ② トヨタ記念病院でのカンファレンスの内容            ③ 妊孕性温存療法について一連の流れ</p> <p>妊孕性温存療法についてやカンファレンスにおいての胚培養士の発言内容に関する質疑応答も行われました。</p> <p>2.精度管理調査について            参加施設 18 施設、6 問の設問すべて正答率 100%でした。            各設問に対する解説とアンケート結果に対する報告がありました。又、AICCLS リーフレットの改版やプレサーベイの内容を共有しました。</p> <p>3.精液検査と人工授精            妊娠成立の機序、不妊症定義、男性不妊の分類、精液検査の目的、採取ポイントや検体確認をどのように行っているか、結果の臨床へのフィードバックの例を説明していただきました。人工授精に関しては精液調整の目的から密度勾配法の具体的手順や試薬変更時の検討結果についてもお示しいただき、他の方法として移動沈降法についても説明がありました。</p>			
参加者	総数：19 名 (会員 19 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名)			
共催、後援など	無			

## 活動報告書

所属：生殖医学検査研究班 提出日： 令和 6 年 9 月 7 日 報告者：及川 彰太

行事種別	講演会	行事番号	240007632	
開催日	令和 6 年 9 月 7 日(土)			
時間	開始	14 時 30 分	終了	16 時 30 分
場所・配信	岩倉市生涯学習センター会議室 3・4 (所在地 岩倉市)			
テーマ	「調節卵巣刺激について」			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	JA 愛知厚生連 江南厚生病院 伊藤 康生 技師			
講師	1. Q & A ～素朴な疑問にお答えします～ 八千代病院 竹中 美保子 2. 調節卵巣刺激について JA 愛知厚生連 江南厚生病院 松川 泰			
内容	1. Q & A ～素朴な疑問にお答えします～ 6月の研究会で寄せられた以下の3つの質問に対する回答を竹中技師より解説していただきました。 ① 急速融解法とは ② 教育体制について ③ 採卵時の検卵について 最新のトピックである急速融解法 (ultra fast 法) や、スタッフの教育体制については自施設の体制も踏まえて情報提供をしていただきました。検卵については経験からのコツを詳細に提示していただきました。参加者から教育についての質問もあり、有意義な討議が行われました。 2. 調節卵巣刺激について 講演会は JA 愛知厚生連江南厚生病院産婦人科代表部長である松川泰医師に調節卵巣刺激についてご講演いただきました。 自施設の紹介から始まり、卵巣刺激を行う理由、卵巣刺激の選択に必要な卵巣予備能検査、AMH を参考にした卵巣刺激法、卵巣刺激法の種類と方法について松川医師の経験も踏まえてお話しいただきました。 AMH は月経周期に影響を受けずに測定できる最も信頼できる卵巣予備能の検査項目であること、AMH 値を参考にした卵巣刺激が必要であること、調節卵巣刺激法それぞれの特徴について詳細にお話しいただきました。			
参加者	合計：28 名 (会員 23 名、県外会員 0 名、講師 2 名、実務委員 3 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名) 事前参加申込数：26 名			
共催、後援など	無し			

合計：現地開催 (講師・実務委員・参加者)、  
ライブ・オンデマンド配信 (講師・実務委員・レポート提出者)

## 活動報告書

所属：生殖医学検査研究班

提出日： 令和 6 年 12 月 16 日

報告者：夢沼 美砂

行事種別	研究会	行事番号	240016081
開催日	令和 6 年 12 月 7 日(土)		
時 間	開 始	14 時 30 分	終 了 16 時 30 分
場所・配信	愛知医療センター名古屋第一病院 (所在地 名古屋市)		
テーマ	「ホルモン検査について」		
生涯教育履修点数	専門教科	20	点
司 会	小牧市民病院 藤田京子 技師		
講 師	1. Q&A～素朴な疑問にお答えします 名古屋大学医学部附属病院 古澤直美 2. AMH について 八千代病院 小椋圭 3. 臨床データ紹介 藤田医科大学ばんだね病院 伊藤裕安		
内 容	1. Q&A～素朴な疑問にお答えします 前回 9 月講演会で寄せられた質問に対する回答を、古澤先生より解説していただきました。 ① PPOS の利点について ② ICSI のコツ ③ 凍結胚融解時のプレート加温設定について ④ 社会的卵子凍結について ③については各施設の方法をアンケートで集計して結果を提示していただきました。 ④社会的卵子凍結については日本産科婦人科学会の HP 記載内容を分かりやすくまとめて解説していただきました。 2. AMH について AMH の基礎的なお話と、実際の採卵症例の経過を、AMH 値を提示しながら紹介していただきました。また質疑応答から、八千代病院の受精方法の選択の仕方についてお答えいただきました。 3. 臨床データ紹介 AMH 値を測定した子宮付属器手術症例の妊娠予後についてご報告していただきました。また実際の手術動画を供覧しながら、症例の解説をしていただきました。		
参加者	合計：17 名 (会員 12 名、県外会員 0 名、講師 3 名、実務委員 3 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名) 事前参加申込数：17 名		
共催、後援など	無		

合計：現地開催 (講師・実務委員・参加者)、  
ライブ・オンデマンド配信 (講師・実務委員・レポート提出者)